



佐藤 司郎 教授

2009年2月撮影

佐藤 司郎 教授 略歴・主要業績

略歴・学歴

- 1946年 11月 17日 山形県東村山郡金井村大字鯨洗 178 番地（現山形市）に出生
- 1959年 3月 山形市立第五小学校卒業
- 1962年 3月 山形市立第一中学校卒業
- 1965年 3月 山形県立山形東高等学校卒業
- 1965年 4月 東北大学文学部入学
- 1969年 3月 同 卒業（哲学科倫理学専攻）
- 1970年 4月 東北大学大学院文学研究科入学
- 1973年 3月 同 修士課程修了（実践哲学専攻）
- 1976年 4月 東京神学大学神学部編入学
- 1980年 3月 東京神学大学大学院神学研究科前期課程修了（組織神学専攻）
- 1985年 9月-1987年 7月 ボン大学神学部留学（EKD 奨学生）
- 2005年 4月-2006年 3月 ゲッティンゲン大学神学部客員研究員（在外研究）

職 歴

- 1980年 4月-1985年 3月 日本基督教団大洲教会牧師
- 1987年 9月-1998年 3月 日本基督教団信濃町教会牧師
- 1998年 4月-2011年 3月 東北学院大学文学部キリスト教学科教授（組織神学）
- 2011年 4月-2018年 3月 同 総合人文学科教授（組織神学，現代思想）
- 2003年 4月-2018年 3月 東北学院大学大学院文学研究科教授

※本学在職中，キリスト教学科長（2001年4月-2005年3月），中央図書館長（2006年4月-2010年3月），文学研究科長（2012年4月-2014年3月）を歴任。

学 位

- 2017年 文学博士（東北大学）

著 書

〔単著〕

- 『カール・バルトの教会論——旅する神の民』新教出版社，2015年2月28日，410頁。
 『われは教会を信ず』新教出版社（新教新書267），2011年7月，163頁。
 『生ける主に従う——教会の神学を求めて』新教出版社，1999年10月，195頁。
 『新しい言葉をもって』新教出版社，1996年4月，237頁。

〔共著〕

- 『宗教の世界史 キリスト教の歴史2』高柳俊一・松本宣郎編，2009年8月，山川出版社，269頁/付録57頁（123-138頁，153-161頁，186-194頁執筆）。
 『日本におけるカール・バルト——敗戦までの受容史の諸断面』バルト神学受容史研究会編，2009年9月，新教出版社，497頁（第2章「日本神学校におけるバルト受容——桑田秀延と熊野義孝の場合」113-161頁，及び「総括討論 日本の神学とバルト受容の諸問題」450-479頁）。
 『これからの日本の説教』説教塾ブックレット9，2011年2月，キリスト新聞社，239頁（「日本における説教黙想の確立とその展開」52-90頁）。
 『ヨーロッパ・グローバリゼーションの歴史的位相』渡辺昭一編，勉誠社，2013年6月，236頁（「世界教会の形成と告白教会——ボンヘッファーとバルト」120-129頁）。
 『教団戦責告白五十年』『時の徴』同人編，新教コイノニア33，2017年2月，新教出版社（「戦争責任告白五十年」16-26頁）。
 『戦後70年の神学と教会』新教出版社編集部編，2017年10月，157頁（「戦後70年と教会」94-99頁）。

教会史誌

- 『のぼる道は十字架に——新谷伝道の黎明』：日本基督教団大洲教会/新谷伝道所献堂記念誌，4-22頁，1985年3月3日。

論 文

〔論文〕

- 「現代神学における内在的三位一体論と経綸的三位一体論——K・ラーナー，J・モルトマン，K・

- バルトの場合」：東京神学大学神学会編『神学』42号，101-131頁，1980年12月。
- 「獄中書簡における神の問題」：村上伸，森岡巖，森野善右衛門編『ボンヘツファーと日本』（E・ペー
トゲ80歳祝賀論文集），36-50頁，新教出版社，1989年9月。
- 「死者の居場所をめぐって——バルトとモルトマン」：『ユルゲン・モルトマン研究』43-55頁，聖
学院大学出版会，1998年3月。
- 「神の民の選び——カール・バルトにおける予定論と教会論」：東北学院大学学術研究会『教会と
神学』31号，163-202頁，1999年3月。
- 「世のための教会——カール・バルトにおける教会の目的論」：東北学院大学学術研究会『教会と
神学』32号，75-132頁，2000年3月。
- 「政治的共同責任の神学——カール・バルトにおける教会と国家」：東北学院大学学術研究会『教
会と神学』33号，69-115頁，2001年3月。
- 「『信仰の一致における政治的決断』とは何か」：東北学院大学キリスト教文化研究所紀要19号，
47-58頁，2001年8月。
- 「キリスト支配的兄弟団——カール・バルトにおける教会の秩序の問題」：東北学院大学学術研
究会『教会と神学』34号，1-48頁，2002年3月。
- 「ナチズムとバルト——『バルメン宣言』第三項を巡って」：宮田光雄・柳父圀近編『ナチ・ドイ
ツの政治思想』233-265頁，創文社，2002年8月。
- 「『バルトとデモクラシー』を巡る覚え書」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』35号，39-58
頁，2002年12月。
- 「われは教会を信ず——カール・バルトにおける教会の存在と時間」：東北学院大学学術研究会『教
会と神学』36号，45-79頁，2003年3月。
- 「K・バルトの『キリストの体なる教会』」：東北学院大学キリスト教文化研究所紀要21号，33-54
頁，2003年6月。
- 「カール・バルトと第2バチカン公会議——とくに教会理解を中心に」：東北学院大学学術研究会
『教会と神学』37号，103-145頁，2003年12月。
- 「ボンヘツファーの黙想論——『説教黙想』との関連において」：東北学院大学学術研究会『教会
と神学』38号，1-26頁，2004年3月。
- 「ボンヘツファーと説教黙想」：日本基督教団出版局『説教黙想アレテイア』45号，2-7頁，2004
年6月。
- 「共同の行為としての洗礼——バルトの洗礼論への一視角」：東北学院大学キリスト教文化研究所
紀要22号，33-54頁，2004年7月。
- 「カール・バルトにおける『教会と世』を巡って——覚え書」東北学院大学学術研究会『教会と
神学』40号，145-173頁，2005年3月。

- 「バルメン宣言と今日の神学的実存」：『福音と世界』2005年5月，12-17頁，新教出版社。
- 「井上良雄におけるバルトとブルームハルト」：『井上良雄研究』新教コイノニア Vol. 23，82-94頁，新教出版社，2005年6月。
- 「『ローマ書講解』におけるカール・バルトの教会理解」：『歴史と神学』上（大木英夫教授喜寿記念献論文集），聖学院大学出版会，276-303頁，2005年12月。
- 「神の言葉はつながれていない——バルメン宣言第六項の意味と射程」東北学院大学学術研究会『教会と神学』43号，93-113頁，2006年11月。
- 「二十年代から三十年代にかけてのカール・バルトの教会理解——弁証法的教会理解からキリスト論的・聖霊論的教会理解へ」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』44号，69-113頁，2007年3月。
- 「R・ボーレン以後の説教の動向——聞き手の問題を中心として」：説教塾編『説教』9号，教文館，2007年11月。
- 「前進命令としての和解——バルト没40年を迎えて」：『福音と世界』2008年9月，14-19頁，新教出版社。
- 「戦争と平和——カール・バルトの神学的・政治的軌跡」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』47号，113-138頁，2008年11月。
- 「教養教育としての『キリスト教学』の意味と課題」：『東北学院大学教育研究所報告集』第9集，37-48頁，2009年3月。
- 「なぜバルトは説教黙想を書かなかったのか」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』48号，147-169頁，2009年3月。
- 「教会論に立つ伝道論——とくにバルト『教会教義学』の線から」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』51号，61-88頁，2010年11月。
- 「二十年代から三十年代にかけてのバルトの教会理解（下）」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』52号，95-122頁，2011年3月。
- 「神学者バルトから見たニーチェ——理性と信仰の関わりをめぐって」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』創刊号，3-14頁，2011年11月。
- 「カール・バルトのエキュメニカルな神学への道（1）——エキュメニカル運動との関わりにおいて」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第2号，57-75頁，2012年3月。
- 「カール・バルトのエキュメニカルな神学への道（2）——世界教会運動との関わりの中で」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第3号，1-8頁，2012年11月。
- 「『真のキリスト者となる』道を求めて——小川圭治の神学的足跡を辿る」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第4号，1-10頁，2013年3月。
- 「旅する神の民」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第7号，1-16頁，2014年11月。

- 『戦後七十年』と教会——バルト = ボンヘッファーの線に立って』: 『福音と世界』 2015 年 1 月, 12-17 頁, 新教出版社。
- 「罪責を告白する教会」: 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第 8 号, 35-58 頁, 2015 年 3 月。
- 「真理における一致を求めて——ボンヘッファーとバルトのエキュメニカル運動との関わり」: 日本ボンヘッファー研究会編『ボンヘッファー研究』No. 31, 34-40 頁, 2015 年 8 月。
- 「カール・バルトのエキュメニカルな神学への道——世界教会運動との関わりの中で (3)」東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第 10 号, 33-52 頁, 2016 年 3 月。
- 「カール・バルトのエキュメニカルな神学への道 (4)」: 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第 11 号, 61-82 頁, 2016 年 11 月。
- 「カール・バルトのエキュメニカルな神学への道 (5)」: 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第 12 号, 133-145 頁, 2017 年 3 月。
- 「カール・バルトとエキュメニズム」: 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第 13 号, 1-45 頁, 2017 年 11 月。
- 「ミッシェル・デイとバルトの宣教の教会」: 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第 14 号, 31-54 頁, 2018 年 3 月。

〔小論文〕

- 「K・バルトの洗礼論——『断片』第一部の内容と問題点」: 椎の樹会『形成』委員会編『形成』No. 96, 12-15 頁, 1978 年 12 月。
- 「ザーフェンヴェイル時代のバルトの説教」: 日本基督教団出版局『聖書と教会』研究ノート, 1984 年 10 月。
- 「復活と新しい創造」: 『聖書と教会』1990 年 4 月号, 8-13 頁, 日本基督教団出版局。
- 「若きバルトと信仰の教育」: 『聖書と教会』1990 年 7 月, 14-19 頁。
- 「今日における告白する教会を求めて」: 『聖書と教会』1992 年 7 月, 2-7 頁。
- 「罪責の告白についての覚書」: 日本ボンヘッファー研究会編『ボンヘッファー研究』No. 9, 3-5 頁, 1992 年 9 月。
- 「説教におけるメタファーの問題」: 『福音と世界』1994 年 6 月, 8-16 頁, 新教出版社。
- 「平和の挨拶」: 『福音と世界』1994 年 8 月, 28-34 頁, 新教出版社。
- 「義認の信仰——人間の義認から神の義認へ」: 『福音と世界』1995 年 10 月, 25-33 頁, 新教出版社。
- 「パネンベルクとユンゲル」: 『福音と世界』1995 年 12 月, 29-35 頁, 新教出版社。
- 「老年と青年」: 『福音と世界』1996 年 7 月, 11-14 頁, 新教出版社。
- 「聖霊の信仰のために」: 『福音と世界』1997 年 5 月, 8-12 頁, 新教出版社。
- 「バルトの三つのローマ書講解」: 『形成』No. 334/335, 19-21 頁, 1998 年 10/11 月。

- 「教会とは何か—中間時を生きる」, 「伝道とは何か—種を蒔き続ける」以上2編:『栄光』(日本基督教団経堂北教会/創立60周年記念秋の集い) No. 516, 2-5頁, 1997年9月14/15日。
- 「『バルメン宣言』第三項の理解のために」:『キリスト教学科通信』9号, 2-3頁, 1999年4月。
- 「教会の機能としての教義学」:『福音と世界』1999年11月, 15-19頁, 新教出版社。
- 「大学礼拝のより良い説教のために」:『東北学院大学・青山学院大学合同チャプレン会議報告書』17号, 15-24頁, 2000年3月。
- 「『バルメン宣言』第五項本文の成立をめぐる」:『福音と世界』2000年11月, 22-34頁, 新教出版社。
- 「日本のカール・バルト研究——その歴史と現在」:韓国キリスト長老会神学研究所『御言葉と教会』第29号(韓国語訳), 2001年9月。
- 「私にとっての積義とは」:『アレテア』No. 37, 24-27頁, 2002年5月。
- 「和解の務めのために」:『キリスト教学科通信』13号, 1頁, 2003年4月。
- 「和解の神の支配を忘れるな!」:『アレテア』41号, 26-27頁, 2003年6月。
- 「バルメン宣言の拓いた道」:『キリスト教学科通信』14号, 2004年4月。
- 「牧会学の古典との対話」:『福音と世界』2004年7月, 36-39頁, 新教出版社。
- 「教会の本質と今日の課題—東北における教会のヴィジョン形成のために」:日本バプテスト連盟宣教研究所『2003年度教会形成研修会報告書』7-21頁, 2004年7月。
- 「今日の教会と伝道を考える」:『本のひろば』2004年8月, 2-5頁。
- 「キリストのご支配の下に生きる」:『信徒の友』2004年8月号, 16-19頁。
- 「今日の神学教育と伝道者養成について」:『日本バプテスト連盟壮年会連合39回全国壮年大会報告書』7-23頁, 2004年11月。
- 「キリスト教大学のアイデンティティとキリスト教学の可能性」:『キリスト教文化研究所紀要』28号, 118-126頁, 2010年6月。
- 「第二次大戦勃発と告白教会の説教」:『危機に聴くみ言葉』(説教黙想アレテア特別増刊号) 62-67頁, 2011年11月, 日本基督教団出版局。
- 「遠い目標へ, その途上にある諸教会——第2バチカン公会議とカール・バルト」:『福音と世界』, 2012年6月号, 20-25頁, 新教出版社。
- 「すべての被造物との平和を実現するために」:『信徒の友』2012年8月号, 15-17頁。
- 「日本の教会と井上良雄——今, 井上良雄から学ぶこと」:『時の徴』137/138合併号, 6-15頁, 2013年10月。
- 「F・G・イミンクの『信仰論』の理解と対話のために」:説教塾編『イエス・キリストを説教するとは』2014年3月, 56-62頁, キリスト新聞社。

事典項目

- 「宮田光雄『十字架とハーケンクロイツ』」：『宗教学文献事典』，弘文堂，2007年11月。
- 「カール・バルト」：関西学院大学キリスト教と文化研究センター編『キリスト教平和学事典』，教文館，2009年9月。
- 「バルト」「弁証法神学」「ユンゲル」：『新キリスト教組織神学事典』教文館，2018年3月。

学会発表

- 「バルメン宣言第5項テーゼのテキストの形成について」：日本基督教学会東北支部学術大会，2000年6月，弘前学院大学。
- 「バルト『信仰の一致における政治的決断』について」：日本基督教学会東北支部学術大会，2001年6月14日，東北学院大学。
- 「『第2バチカン公会議』との関わりに見るカール・バルトの教会理解」：日本基督教学会東北支部学術大会，2003年6月21日，東北大学。
- 「受肉論と教会論——プロレゴメナに見るバルトの教会理解」：日本基督教学会東北支部学術大会，2008年6月，尚絅学院大学。

報 告

- 「罪責告白と戦後ドイツ・プロテスタント教会の歩み」：東北学院大学オープン・リサーチ・センター，ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容「研究プロジェクト報告書」1，222-264頁，2008年3月。
- 「1934年7月8日のボンヘッファーの説教——コメントに代えて」：東北学院大学オープン・リサーチ・センター，ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容「研究プロジェクト報告書」1，286-288頁，2008年3月。
- 「テゼ共同体とウィルバーフォース記念館を訪ねて」：東北学院大学オープン・リサーチ・センター，ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容「研究プロジェクト報告書」1，293-294頁，2008年3月。
- 「伝道する教会と説教」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第12号，149-152頁，2017年3月。

翻 訳

- エルンスト・トレルチ「ヘブライ預言者の信仰とエートス」：『トレルチ著作集』第7巻, 47-98頁, ヨルダン社, 1981年5月。
- クリスチーネ・リーネマン「政治倫理の地平における韓国の『民衆神学』と南アフリカの教会的抵抗」：『民衆が時代を開く』富坂キリスト教センター編, 341-360頁, 新教出版社, 1990年7月。
- エーバハルト・ブッシュ「成人した信仰共同体としての教会」：『カール・バルトと現代』, 新教コイノーニア8, 43-55頁, 新教出版社, 1990年8月。
- マルチン・クスケ「ひとりの人間が人間のもとに来る」：『この世的に生きるキリスト者——ボンヘツファーの幻』73-123頁, 新教出版社, 1990年10月。
- カール・バルト『カール・バルト説教選集』第2巻, 342頁, 日本基督教団出版局, 1991年3月。
- カール・バルト『カール・バルト説教選集』第1巻, 日本基督教団出版局, 394頁, 1994年7月。
- ベルトールト・クラッパート「個人の新生と世界の再生」：『バルト = ボンヘツファーの線で』新教コイノーニア15, 69-77頁, 新教出版社, 1996年2月。
- エーバハルト・ユンゲル『味わい, 見よ』(教文館), 2002年1月, 251頁。
- エーバハルト・ユンゲル『中断』(教文館)2002年7月, 323頁。
- エーバハルト・ブッシュ「イエス・キリストはユダヤ人」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』36号, 1-13頁, 2003年。
- エーバハルト・ブッシュ『バルト神学入門』, 新教出版社, 2009年12月, 190頁。
- 「ローザンヌ提題」(解題を含む)：大崎節郎編『改革派教会信仰告白集』I, 2011年9月, 一麦出版社。
- 「フランス信条」(解題を含む)：大崎節郎編『改革派教会信仰告白集』II, 2011年10月, 一麦出版社。
- 「ピエモンテ・ヴァルド派の簡潔な信仰告白」(解題を含む)：大崎節郎編『改革派教会信仰告白集』IV, 2012年1月, 一麦出版社。
- 「フランス改革派教会大会信仰宣言」(解題を含む)：大崎節郎編『改革派教会信仰告白集』V, 2012年3月, 一麦出版社。
- 「カンバーランド長老教会・第二カンバーランド長老教会信仰告白(1884年)」(解題を含む)：大崎節郎編『改革派教会信仰告白集』VI, 2012年4月。
- ベルトールト・クラッパート「カール・バルトの〈生の光〉の教説」：東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第14号, 55-79頁, 2018年3月。
- エーバハルト・ブッシュ「平和の使者」, 同上, 23-30頁。

〔共訳〕

- エーバーハルト・ユンゲル『神の存在——バルト神学研究』（大木英夫氏と共訳），ヨルダン社，1984年4月，283頁。
- カール・バルト『カール・バルト説教選集』第3巻（大崎節郎・村椿嘉信氏と共訳），日本基督教団出版局，1995年10月，408頁。
- カール・シュヴァルツヴェラー「ルターにおける義認と聖化」：『宗教改革とその世界史的影響』12-45頁，教文館，1998年9月。
- ジーン・アウトカ『アガペー 愛についての倫理学的研究』教文館（茂泉昭男，佐々木勝彦氏と共訳），1999年4月，411頁。
- カール・バルト『カール・バルト説教選集13』日本基督教団出版局（蓮見和男氏他との共訳），2000年7月，380頁。
- エーバーハルト・ブッシュ『カール・バルトと反ナチ闘争-ユダヤ人問題を中心に』上巻（雨宮栄一，小川圭治氏他と共訳），新教出版社，2002年7月，332頁。
- エーバーハルト・ブッシュ『カール・バルトと反ナチ闘争-ユダヤ人問題を中心に』下巻（雨宮栄一，小川圭治氏他と共訳），新教出版社，2002年9月，358頁。
- ディートリヒ・ボンヘッフアー『ボンヘッフアー説教全集』第3巻，新教出版社（浅見一羊氏他と共訳），2004年8月，227頁。並びに解題執筆。
- ハインツ・エドゥアルト・テート『ヒトラー政権の共犯者，犠牲者，反対者—《第三帝国》におけるプロテスタント神学と教会の《内面史》のために』創文社（宮田光雄・山崎和明氏と共訳），2004年11月，644頁。
- カール・バルト『十九世紀のプロテスタント神学（中）』：カール・バルト著作集第12巻（酒井修氏他と共訳），5-76頁，117-172頁，新教出版社，2006年8月。

書 評

- Ingrid Spieckermann, Gotteserkenntnis—Ein Beitrag zur Grundfrage der neuen Theologie Karl Barths, Chr. Kaiser Verlag, 1985: 『聖書と教会』1990年5月，47-48頁。
- Eberhard Jüngel, Zum Verhältnis von Kirche und Staat nach Karl Barth, ZThK, Beiheft 6, S. 96-135, 1986: 『聖書と教会』1991年4月，47-48頁。
- Eberhard Jüngel, Wertlose Wahrheit, Zur Identität und Relevanz des christlichen Glaubens, Chr. Kaiser Verlag, 1990: 『聖書と教会』1992年4月，47-48頁。
- Ilse Tödt, Heinz Eduard Tödt, Ernst Feil und Clifford Green (hg.), Dietrich Bonhoeffer, Ethik, Chr. Kaiser Verlag, 1992: 『聖書と教会』1992年10月，47-48頁。

- Bertold Klappert, *Versöhnung und Befreiung*, Neukirchner Verlag, 1994 : 『アレテティア』 No. 14, 30 頁, 1996 年 9 月。
- Karl. Barth, *Predigten 1916* (GA V 29) : 『アレテティア』 No. 22, 34 頁, 1998 年 9 月。
- Albrecht Grözinger, *Toleranz und Leidenschaft. Über das Predigen in einer pluralistischen Gesellschaft*, Gütersloher Verlaghaus, 2004 : 『説教黙想アレテティア』 51 号, 93 頁, 「寛容と情熱——多元社会において説教することを巡って」, 2006 年 1 月。
- John G. Flett, *The Witness of God: The Trinity, Missio Dei, Karl Barth, and the Nature of Christian Community*, Eerdmans Publishing, 2010 : 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』 第 5 号, 31-36 頁, 「宣教の神学としてのバルト神学」, 2013 年 11 月。
- Annelore Siller, *Kirche für die Welt, Karl Barths Lehre vom prophetischen Amt Jesu Christi*, TVZ, 2009) : 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』 6 号, 41-53 頁, 「世のための教会論の現代的射程を問う」, 2014 年 3 月。
- リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー 『想起と和解』 (教文館) : 『信徒の友』 1989 年 2 月号, 63-64 頁。
- 宮田光雄 『嵐を静めるキリスト』 (新教出版社) : 『信徒の友』 1990 年 2 月, 36 頁。
- 森野善右衛門 『目標目ざして走り』 (新教出版社) : キリスト教文書センター『本のひろば』 1990 年 8 月, 18-19 頁。
- 加藤常昭 『加藤常昭説教全集 8』 (ヨルダン社) : 『本のひろば』 1991 年 6 月, 12-13 頁。
- 大崎節郎 『恩寵と類比』 (新教出版社) : 『本のひろば』 1992 年 10 月, 20-21 頁。
- 佐藤敏夫 『「ローマ書」を読む』 (教文館) : 『本のひろば』 1992 年 12 月, 24-25 頁。
- 大江健三郎 『人生の習慣』 (岩波書店) : 『福音と世界』 1993 年 1 月, 53-54 頁, 新教出版社。
- 高橋秦二 『安らかな死と生を求めて』 (新教出版社) : 『本のひろば』 1994 年 2 月, 18-19 頁。
- 高橋三郎 『ガラテヤ書』 (教文館) : 『本のひろば』 1995 年 10 月, 6-7 頁。
- リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー 『良心は立ち上がる』 (日本基督教団出版局) : 日本基督教団出版局『アレテティア』 No. 11, 28 頁, 1995 年 12 月。
- ランダウ編 『光の降誕祭』 (教文館) : 『福音と世界』 1996 年 3 月, 43 頁, 新教出版社。
- ヴォルフハルト・パネンベルク 『組織神学入門』 (日本基督教団出版局) : 『福音と世界』 1996 年 6 月, 45 頁, 新教出版社。
- エーミル・ブルンナー 『ブルンナー著作集第二巻』 (教文館) : 『本のひろば』 1998 年 4 月, 16-17 頁。
- 大島力 『聖書は何を語るか』 (日本基督教団出版局) : 『信徒の友』 1998 年 10 月, 86-87 頁。
- 倉松功 『ルター神学の再検討』 (聖学院大学出版会) : キリスト新聞社『キリスト新聞』, 1998 年

12月12日。

久野牧『講解説教ヤコブの手紙』（一麦出版社）：『いちばく』No.2, 1999年10月。

寺園喜基『途上のキリスト論』（新教出版社）：『日本ボンヘッファー研究会ニュース』No.21, 1999年10月。

計良祐時『カール・バルトのキリスト論研究』（日本基督教団出版局）：日本基督教学会『日本の神学』39号, 127-132頁, 2000年10月。

佐々木徹『三位一体の神-カール・バルトの神学研究』（新教出版社）：『本のひろば』2000年8月, 18-19頁。

宮田光雄『十字架とハーケンクロイツ』（新教出版社）：『週刊読書人』2371号, 2001年1月26日。

ハイน์ツ・エドゥアルト・テート『ヒトラー政権の共犯者, 犠牲者, 反対者』（創文社）：『アレテア』No.35, 2001年11月。

エルンスト・ファイル『ボンヘッファーの神学』（新教出版社）：『キリスト新聞』2757号, 2001年12月15日。

ルードルフ・ボーレン『預言者・牧会者 エドゥアルト・トゥルンアイゼン（上）』（教文館）：『本のひろば』2002年2月, 8-9頁。

ホルスト・ゲオルク・ペールマン『イエスとは誰か?』（教文館）：『本のひろば』2004年3月, 6-7頁。

宮田光雄『ベツレヘムの星』（新教出版社）：『信徒の友』2006年1月号, 84-85頁。

大崎節郎著『光あれ!』（一麦出版社）：『本のひろば』2008年6月号, 22-23頁。

ホルスト・ゲオルク・ペールマン『現代教義学総説』（新教出版社）：『本のひろば』2008年8月号, 2-3頁。

加藤常昭『出来事の言葉・説教』（教文館）：『本のひろば』2012年4月, 4-5頁。

八谷俊久著『逆説から歴史へ』（新教出版社）：『本のひろば』2016年3月号, 6-7頁。

大沼潤子『雑草庵日記』（日本基督教団出版局）：『本のひろば』2016年7月, 16-17頁。

ゲオルク・プラスガー『カルヴァン神学入門』（教文館）：『本のひろば』2017年10月, 12-13頁。

井上良雄『待ちつつ急ぎつつ』（新教出版社）：『時の徴』149号, 59-60頁, 2017年10月。

森野善右衛門『現代に生きる教会——対話・共生・平和』（新教出版社）：『時の徴』150号, 42-45頁, 2018年2月。

〔対談書評〕

「三位一体論の新しい展望」（佐藤敏夫氏とモルトマン『三位一体と神の国』を巡って）：『本のひろば』1991年1月, 1-6頁。

『日本の説教』（全15巻，日本基督教団出版局），加藤常昭氏，深田未来生氏と鼎談書評：『本のひろば』2005年3月，4-11頁。

「今，この時代にバルトを読む意義について『カール・バルト一日一章』（大島力氏と対談）：『本のひろば』2008年3月，2-9頁。

『改革派教会信仰告白集』：『本のひろば』（大崎節郎，田部郁彦，佐々木潤氏と共に），2-11頁，2013年1月。

対論・座談

〔対論・対談〕

「聖書学と組織神学の対話——大貫隆『隙間だらけの聖書』を巡って」：日本組織神学研究会，1998年9月23日，東京山手教会。

「沖縄の教会の歴史を読む——『教団史資料集』第4編をめぐって」：『教団新報』No. 4419，1-2頁，1998年10月10日。

〔座談〕

「説教黙想運動を担う——加藤常昭，関田寛雄，徳善義和，吉村和雄氏と共に」：『アレテア』42号，4-13頁，2003年9月22日。

聖句講解・聖書講話他

「あなたも働きなさい」（マタイ20・1-16）：日本基督教団広島教会『シャローム』第9号，1984年9月30日。

「日毎の糧」：『信徒の友』1991年4月号，101-111頁。

「神への帰郷」（ルカ15・11-24）：東京女子大学『學報』465号，1992年11月25日。

「祈りなさい」：日本基督教団松山城東教会『会報』No. 63，3-8頁，1995年12月。

「豎琴を奏でて」（サムエル上16章14-23）：『シオンのかおり』第10集，10-11頁，明治学院大学宗教部，1996年4月。

「マリヤの信仰」（ルカによる福音書1・26-38）：『形成』No. 324，10-14頁，1997年12月。

「火の言葉の語り手として」：『アレテア』No. 21，28-29頁，1998年5月。

「神か，富か」（マタイ4・8-11）：東北学院大学時報，565号，1998年10月。

「執り成しの共同体として」（ヤコブ5・13-16）：加藤常昭編『思い起こせ，キリストの真実を』下，233-241頁，教文館，1999年4月。

- 「良くなりたか」(ヨハネ 5・1-9)：日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 315 号，1999 年 6 月。
- 「ヨブ記について」(ヨブ記 38・11)：みちのくコスモスの会『TSK シャロームコスモス』(宮城，福島，山形地区会報) 5 号，1999 年 11 月 15 日。
- 「聖なる生活」(ローマ 6・15-23)：日本基督教団仙台東六番丁教会会報『信・望・愛』，166 号，1999 年 12 月。
- 「イースターの意味」(マルコ 16・1-8)：日本基督教団角田教会月報，No. 1，2000 年 5 月。
- 「合点のいく日」(ヨハネ黙示録 19・1-2)：東北学院大学時報，587 号，2000 年 10 月。
- 「ぶどう園の労働者のたとえ」：日本バプテスト同盟塩釜キリスト教会『更生』613 号，2001 年 2 月。
- 「『上に立つ権威』と教会」(ローマ 13・1-7)：全国教会婦人会連合『教会婦人』458 号，2001 年 2 月。
- 「復讐してはならない」(マタイ 5・38-39)：東北学院大学時報，598 号，2001 年 10 月 15 日。
- 「闇の中に輝く光」(ヨハネ 7・53-8・11)：日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 346 号，2002 年 1 月。
- 「根源的信頼」(ルカ 2・49-50)：東北学院大学時報，609 号，2002 年 10 月 15 日。
- 「発見された人間」：東北学院大学学術研究会『教会と神学』35 号，1-7 頁，2002 年 12 月。
- 説教 2 編：日本基督教団信濃町教会『ことば 説教集 1930-2001』，2003 年 3 月。
- 「神の栄光のために」(エフェソ 1・3-14)：日本基督教団角田教会月報，No. 41，2003 年 9 月。
- 「中断としての礼拝」(出エジプト 20・8-11)：東北学院大学時報，619 号，2003 年 9 月 15 日。
- 「良い羊飼い」(ヨハネ 10・11-16)：東北学院大学学術研究会『教会と神学』37 号，1-9 頁，2003 年 12 月。
- 「見よ，この人」(マタイ 11・2-10)：日本基督教団角田教会月報，No. 45，2004 年 1 月。
- 「聞こえる」(マタイ 21・16)：日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 372 号，2004 年 3 月。
- 「イエスの祈り」(ヨハネ 17・20-26)：日本基督教団角田教会月報，No. 49，2004 年 5 月。
- 「四十年」(申命記 2・7)：東北学院大学時報，631 号，2004 年 10 月 15 日。
- 「本国は天にあり」(フィリピ 3・10-4・1)：日本基督教団信濃町教会月報，366 号，1-4 頁，2004 年 12 月。
- 「クリスマスと平和」(イザヤ 9・5-6，ルカ 2・8-14)：宮城学院キリスト教センター報 GLORY TO GOD，29 号，2005 年 1 月 12 日。
- 「幼子イエスへの旅」(マタイ 2・1-12)：日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 406 号，2007 年 1 月。
- 「この最後の者にも」(マタイ 20・1-16)：日本基督教団信濃町教会月報，397 号，2007 年 7 月。
- 「断片としての人生」(エレミヤ 45・4-5)：東北学院大学時報，667 号，2008 年 1 月 15 日。

「イエスの服を分け合う」(詩篇 22・17-22, マルコ 15・21-32): 日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 438 号, 2009 年 8 月。

「心を騒がせるな」(ヨハネ 14・1): 東北学院大学時報, 689 号, 2010 年 1 月 15 日。

「彼らの真ん中に立たせ——キリスト教主義学校と教会」(マルコ 9・36-37): 全国教会婦人会連合『教会婦人』574 号, 2010 年 10 月。

「苦しむことも, 恵み」(フィリピ 1・29): 東北学院大学時報, 705 号, 2011 年 9 月 15 日。

「弱さを誇る」(II コリント 12・9): 『時の徴』130 号, 1-4 頁, 2012 年 2 月。

「七十二人の派遣」(ルカ 10・1-20): 『時の徴』131/132 号, 1-4 頁, 2012 年 6 月。

説教黙想

「マルコ福音書 12 章 18-27 節」: 日本基督教団出版局『説教者のための聖書講解』No. 68, 35-40 頁, 1989 年 9 月。

「ペトロの手紙一 2 章 11-17 節の釈義と黙想」: 『アレテア』30 号, 79-84 頁, 2000 年 9 月。

「ヨハネ福音書 17 章 20-26 節」: 『説教黙想アレテア』43 号, 27-32 頁, 2003 年 12 月。

「ペトロの手紙一 1 章 3-9 節」: 『説教黙想アレテア』44 号, 21-26, 2004 年 3 月。

「使徒言行録 24 章 10-21 節」: 『説教黙想アレテア』45 号, 21-26 頁, 2004 年 6 月。

「フィリピの信徒への手紙 3 章 7-21 節」: 『説教黙想アレテア』46 号, 21-26 頁, 2004 年 9 月。

「マタイによる福音書 4 章 18-25 節」: 『説教黙想アレテア』47 号, 21-26 頁, 2005 年 1 月。

「使徒言行録 2 章 1-11 節」: 『説教黙想アレテア』48 号, 21-26 頁, 2005 年 4 月。

「コリントの信徒への手紙一, 12 章 4-26 節」: 『説教黙想アレテア』53 号, 39-43 頁, 2006 年 7 月。

「創世記 9 章 8-17 節」: 『説教黙想アレテア』54 号, 39-43 頁, 2006 年 10 月。

「ルカによる福音書 2 章 1-9 節」: 『説教黙想アレテア』55 号, 39-43 頁, 2007 年 1 月。

「ヨハネによる福音書 15 章 12-17 節」: 『説教黙想アレテア』56 号, 39-43 頁, 2007 年 4 月。

「ローマの信徒への手紙 12 章 9-21 節」: 『説教黙想アレテア』57 号, 83-88 頁, 2007 年 7 月。

「マルコによる福音書 1 章 35-39 節」: 『説教黙想アレテア』58 号, 83-88 頁, 2007 年 10 月。

「マルコによる福音書 3 章 13-19 節」: 『説教黙想アレテア』59 号, 83-88 頁, 2008 年 1 月。

「マルコによる福音書 5 章 1-20 節」: 『説教黙想アレテア』60 号, 81-86 頁, 2008 年 4 月。

「マルコによる福音書 7 章 1-23 節」: 『説教黙想アレテア』61 号, 77-82 頁, 2008 年 7 月。

「マルコによる福音書 8 章 31-9 章 1 節」: 『説教黙想アレテア』62 号, 45-50 頁, 2008 年 10 月。

「マルコによる福音書 10 章 46-52 節」: 『説教黙想アレテア』63 号, 45-50 頁, 2009 年 1 月。

「マルコによる福音書 13 章 24-27 節」: 『説教黙想アレテア』64 号, 51-56 頁, 2009 年 4 月。

- 「マルコによる福音書 15 章 21-32 節」：『説教黙想アレテニア』65 号，51-56 頁，2009 年 7 月。
- 「コリントの信徒への手紙二，2 章 12-17 節」：『説教黙想アレテニア』66 号，53-58 頁，2009 年 10 月。
- 「コリントの信徒への手紙二，6 章 14-7 章 1 節」：『説教黙想アレテニア』67 号，53-58 頁，2010 年 1 月。
- 「コリントの信徒への手紙二，12 章 1-10 節」：『説教黙想アレテニア』68 号，53-58 頁，2010 年 4 月。
- 「エフェソの信徒への手紙 4 章 7-16 節」：『説教黙想アレテニア』69 号，57-62 頁，2010 年 7 月。
- 「フィリピの信徒への手紙 1 章 27-30 節」：『説教黙想アレテニア』70 号，55-60 頁，2010 年 10 月。
- 「フィリピの信徒への手紙 4 章 15-23 節」：『説教黙想アレテニア』71 号，45-50 頁，2011 年 1 月。
- 「コロサイの信徒への手紙 3 章 18 節・4・1 節」：『説教黙想アレテニア』72 号，45-50 頁，2011 年 4 月。
- 「ルカによる福音書 2 章 8-20 節」：『説教黙想アレテニア』73 号，63-68 頁，2011 年 7 月。
- 「ルカによる福音書 4 章 38-44 節」：『説教黙想アレテニア』74 号，59-64 頁，2012 年 10 月。
- 「ルカによる福音書 6 章 43-45 節」：『説教黙想アレテニア』75 号，57-62 頁，2012 年 1 月。
- 「ルカによる福音書 8 章 40-56 節」：『説教黙想アレテニア』76 号，57-62 頁，2012 年 4 月。
- 「ルカによる福音書 10 章 1-12 節」：『説教黙想アレテニア』77 号，57-62 頁，2012 年 7 月。
- 「ルカによる福音書 11 章 37-44 節」：『説教黙想アレテニア』78 号，57-62 頁，2012 年 10 月。
- 「ルカによる福音書 13 章 10-21 節」：『説教黙想アレテニア』79 号，57-62 頁，2013 年 1 月。
- 「ルカによる福音書 16 章 14-18 節」：『説教黙想アレテニア』80 号，57-62 頁，2013 年 4 月。
- 「ルカによる福音書 19 章 11-27 節」：『説教黙想アレテニア』81 号，57-62 頁，2013 年 7 月。
- 「ルカによる福音書 21 章 34-38 節」：『説教黙想アレテニア』82 号，57-62 頁，2013 年 10 月。
- 「ルカによる福音書 23 章 32-43 節」：『説教黙想アレテニア』83 号，51-56 頁，2014 年 1 月。

〔説教黙想・合本〕

- 合本『ヤコブの手紙，ペトロの手紙 1，2，ヨハネの手紙 1，2，3，ユダの手紙，ヨハネの黙示録 アレテニア——釈義と黙想』日本基督教団出版局，2002 年 4 月。
- 合本『ヨハネによる福音書 アレテニア——釈義と黙想』日本基督教団出版局，2004 年 4 月。
- 合本『マルコによる福音書 アレテニア——釈義と黙想』：日本基督教団出版局，2010 年 8 月。
- 合本『説教黙想 コリントの信徒への手紙二』：日本基督教団出版局，2011 年 9 月。
- 合本『説教黙想 エフェソの信徒への手紙，フィリピの信徒への手紙，コロサイの信徒への手紙，フィレモンへの手紙』，日本基督教団出版局，2012 年 9 月。
- 合本『ルカによる福音書 1-11 章 説教黙想アレテニア』日本基督教団出版局，2014 年 11 月。

合本『ルカによる福音書 12-24 章 説教黙想アレタイア』日本基督教団出版局，2014 年 11 月。

講 演

- 「人間の生き方」：横浜捜真女学校中学部高等学部全校修養会，1997 年 11 月 17 日。
- 「日本基督教団の課題と将来」：第 43 回日本基督教団教職者懇談会，1998 年 2 月 3 日，五反田・ユーボート。
- 「信仰告白について」：東北改革教会協議会牧師会，1998 年 8 月 31 日，日本基督教団仙台東六番丁教会。
- 「バルメン宣言の教会論」：東北学院大学キリスト教文化研究所主催キリスト教文化講座，1999 年 10 月。
- 「日本のカール・バルト研究の歴史と現状」：韓国バルト研究会主催，2001 年 2 月 23 日，ソウル百周年記念館。
- 「バルト和解論第三部を巡って」：日本カール・バルト協会年次研修会，2001 年 3 月 30 日，葉山・関東学院研修所。
- 「大学礼拝について」：全国チャプレン会議発題講演，2001 年 7 月 12 日，松山メルパルク。
- 「共に成長する教会」：山形県南地区信徒修養会，山形厚生年金休暇センター，2001 年 9 月 23 日。
- 「年間聖句の黙想」：山形県牧師研修会，2002 年 1 月 7/8 日，中山町ゆらら。
- 「ユンゲル説教の魅力」：東京説教塾，2002 年 5 月 13 日，キリスト品川教会。
- 「バルトとデモクラシー」：日本基督教学会東北支部会，2002 年 6 月 15 日，尚綱短大。
- 「礼拝とは何か」：山形県北地区教会役員研修会，2002 年 6 月 30 日，新庄本町教会。
- 「『世のための教会』における説教の意味」：日本組織神学会，2002 年 9 月 19 日，日本基督教団大宮教会。
- 「日本におけるバルト受容の問題」：日本バルト協会研修会，2002 年 10 月 14 日，天城山荘。
- 「バルメン宣言の教会論」：日本キリスト教団奥羽教区教師研修会，2002 年 11 月 11 日，盛岡善隣館。
- 「今日における宣教の課題」：仙北地区信徒研修会，2002 年 11 月 24 日，日本基督教団涌谷教会。
- 「教会形成—信徒の役割」：日本基督教団東北教区福島県相双地区主催信徒教職研修会，2003 年 2 月 11 日，日本基督教団小高教会。
- 「有事法制と教会—和解の務めに仕える教会の課題として」：日本キリスト改革派東北中会・世と教会委員会主催，2003 年 2 月 9 日，日本キリスト改革派仙台教会。
- 「共に成長する教会」：日本基督教団東北教区福島地区教会婦人会連合会主催，2003 年 6 月 6 日，日本基督教団福島新町教会。

- 「礼拝とは何か」：日本基督教団東北教区山形県北地区主催，2003年6月29日，日本基督教団鶴岡教会。
- 「教会の本質と今日の教会の課題」：日本バプテスト連盟宣教研究所主催教職研修会，2003年9月22日，盛岡つなぎ温泉。
- 「井上良雄におけるバルトとブルームバルト」：井上良雄記念集会，2003年11月24日，富坂キリスト教センター。
- 「黙想と説教黙想—ボンヘッファーの黙想論をてがかりにして」：日本基督教団奥羽教区主催教師継続教育講座，2003年11月27日，盛岡・善隣館。
- 「平和の新しい神学的基礎づけのために——宮田光雄『権威と服従』に関して」：日本バルト協会主催研修会，2004年3月28日，葉山・関東学院セミナーハウス。
- 「今日の教会と伝道を考える」：仙台キリスト教書店主催新店舗オープン記念，2004年5月22日，東北教区センター・エマオ。
- 「今日の神学教育と伝道者養成について」：日本バプテスト連盟主催壮年大会，2004年8月27日，三沢市小牧温泉。
- 「バルメン宣言の神学的検討」：日本カール・バルト教会・日本ボンヘッファー研究会共同研修会，2004年8月30日，葉山・関東学院セミナーハウス。
- 「ボンヘッファーの平和説教を読む」：東北学院大学キリスト教文化研究所講座，2004年10月19日。
- 「バルメン宣言と今日の神学的実存」：日本バルト教会・日本ボンヘッファー研究会主催「バルメン宣言70周年記念集会——バルメン宣言と今日の教会」発題講演，2004年11月28日，日本基督教団信濃町教会。
- 「和解の神学」：キリスト教学科修養会，2006年5月14日，茂庭荘。
- 「日本の教会の進路——W・フーバーの教会論と対話しつつ」：日本カール・バルト協会・日本ボンヘッファー研究会合同年次大会，2006年9月5日，ホテル富士箱根。
- 「ドイツの教会，日本の教会——課題としての伝道」：日本基督教団吉祥寺教会創立記念日講演，2006年9月17日。
- 「読書と人生」：東北学院同窓会，国際ホテル，2006年10月13日。
- 「牧師・信徒・教会役員の働き—牧師招聘のための学び」：日本基督教団仙台北三番丁教会，2007年2月25日。
- 「罪責告白と戦後ドイツ・プロテスタント教会の歩み」：東北学院大学ヨーロッパ文化研究所・オープンリサーチセンター共催，2007年7月7日。
- 「R・ボーレン以後の説教学の動向」：キリスト教学科主催第一回教職研修セミナー，2007年8月27日。

- 「戦争と罪責——罪責告白とバルト」：日本バルト協会年次大会，2007年9月3日，ホテル富士箱根。
- 「戦争と平和——カール・バルトの神学的・政治的軌跡」：日本基督教団四国教区高知分区主催，2008年2月11日，日本基督教団高知教会。
- 「バルトはなぜ説教黙想を書かなかったか——説教黙想の課題」：キリスト教学科主催教職研修セミナー，2008年8月。
- 「日本のバルト受容の問題」：日本バルト協会年次大会，2008年9月，ホテル富士箱根。
- 「告白教会とユダヤ人問題——アウシュヴィッツ以後の神学への萌芽，または1933年のバルトとボンヘッファーの神学的方向定位」：東北学院大学オープン・リサーチ・センター主催，2008年10月，東北大学。
- 「現代における教会と国家——ナチス時代の教会」：日本キリスト教会仙台黒松教会，2009年6月21日。
- 「今日の霊性——伝道を考えるための神学的考察」：キリスト教学科教職研修セミナー，2009年8月。
- 「世のための教会と伝道——カルヴァン，ボンヘッファー，バルト」：日本ボンヘッファー研究会・日本バルト協会合同研修会，2009年9月8日，ホテル富士箱根。
- 「カルヴァンとバルト——『魂の眠り』のバルトの解釈を中心にして」：東北学院大学オープン・リサーチセンター主催「カルヴァン生誕500年」，2009年11月28日。
- 「これからの日本の説教——説教者加藤常昭をめぐって」：長崎説教塾主催，2010年1月22日，長崎カトリックセンター。
- 「教会論に立つ伝道論——とくにバルト『教会教義学』の線から」：日本キリスト教会東京中会教職者研修会，2010年6月28日，ホテル富士箱根。
- 「近年のアメリカのバルト研究——教会論を中心として」：日本カール・バルト教会，日本ボンヘッファー研究会合同研修会，2010年9月14日，ホテル富士箱根。
- 「世のための教会」：日本基督教団奥羽教区教師継続教育講座，2010年11月8日，奥羽キリスト教センター。
- 「教会と葬儀」：日本基督教団盛岡松園教会修養会，2010年11月14日。
- 「大震災の痛みの中で生きる教会」：日本基督教団山形本町教会，2011年9月25日。
- 「カール・バルトのエキュメニカルな神学への道」：日本基督教団東中通教会，2011年10月16日。
- 「地上を旅する神の民——教会の本質と課題」：日本基督教団甲府中央教会，2011年10月30日。
- 「小川圭治・森岡巖記念シンポジウム 発題講演」：日本カール・バルト協会・日本ボンヘッファー研究会共催，2012年11月23日，日本基督教団信濃町教会。
- 「日本の教会と井上良雄 — 今，井上良雄から学ぶこと」：『時の徴』編集委員会主催「井上良雄先

- 生没後10年記念シンポジウム」基調講演，2013年6月10日，日本基督教団信濃町教会。
- 「ミシオ・デイ再考」及び「新しい宣教基本方針の展開のために」：奥羽教区教師委員会主催教師研修セミナー，2013年9月9-10日，弘前・アソベの森いわき荘。
- 「世界教会と告白教会」及び「エキュメニズムとバルト」：奥羽教区教師委員会主催第12回教師継続教育講座，2013年11月8日，奥羽キリスト教センター。
- 「ミシオ・デイの神学とカール・バルト」：東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会，2013年12月14日。
- 「罪責を告白する教会」：日本基督教団関東教区教職研修セミナー，2014年10月21-22日，ホテルニュー塩原。
- 「平和について考える」：日本基督教団ユーカリが丘教会（佐倉市），2015年8月2日。
- 「東北の地に響く御言葉」：日本基督教団東北教区教師研修会（天童市），2016年1月11日。
- 「伝道の教会と説教」：東北学院大学総合人文学科主催教職研修セミナー，2016年8月29日。
- 「東北学院大学における伝道者養成の現在」：日本基督教団仙台北三番丁教会主催，2016年10月9日。
- 「バルメン宣言に学ぶ——教会が教会であるための在り方」：日本キリスト教会東京中会主催，2016年11月17日，日本キリスト教会蒲田御園教会。
- 「戦争と平和——神学者カール・バルトの歩みに学ぶ」：日本キリスト教会近畿中会主催，2017年2月11日，日本キリスト教会大阪姫松教会。
- 「現代をいかに生きるか——バルト，ボンヘッファーから学んだこと」：日本基督教団松山城東教会，2017年5月20日。
- 「宗教改革500年——歴史に学ぶ」：本学キリスト教文化研究所主催，2017年10月21日，押川記念ホール。
- 「イエスの譬を読む」：学都仙台コンソーシアム，2017年12月9日，市民サポートセンター。
- 「世のための教会と今日の課題」：日本キリスト改革派教会西部中会主催，2018年2月12日，日本キリスト改革派神港教会。

雑 纂

- 「オルガンのかお」（草刈徹夫氏と共著）：日本基督教団出版局『礼拝と音楽』No. 37，52-53頁，1983年5月。
- 「他者の発見自分の発見」：日本基督教団出版局『信徒の友』1983年4月号，14-16頁。
- 「ドイツ便り」(1)：日本基督教団山形本町教会『いずみ』第3号，1986年8月31日。
- 「ドイツ便り」(2)：日本基督教団山形本町教会『いずみ』第4号，1986年11月2日。

- 「ドイツ便り」(3): 日本基督教団山形本町教会『いずみ』第5号, 1987年1月25日。
- 「ドイツ便り」(4): 日本基督教団山形本町教会『いずみ』第6号, 1987年4月26日。
- 「思うこと一つ, 二つ——新年度を前にして」: 日本基督教団信濃町教会信友会『信友会通信』1988年3月。
- 「天皇の即位の礼・大嘗祭とわれわれ」: 『聖書と教会』1990年8月, 巻頭言。
- 「私の説教論」: 『説教者のための聖書講解』No. 73, 4-10頁, 1990年12月。
- 「危機の時代を迎えて」: 『聖書と教会』1991年1月, 巻頭言。
- 「平和主義をささえるもの」: 『聖書と教会』1991年8月, 巻頭言。
- 「安息日と日曜日」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1-3頁, 1991年11月。
- 「キリストの誕生, われらの誕生」(マタイ2・1-12): フェリス女学院大学宗教委員会『待望』32号, 1991年12月。
- 「新しい被造物」: 『聖書と教会』1992年1月, 巻頭言。
- 「子どもとともに」: 『聖書と教会』1992年8月, 巻頭言。
- 「バルトの健康論」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1-2頁, 1992年12月。
- 「神の党派性」: 『聖書と教会』1993年1月, 巻頭言。
- 「聖徒の足跡」(石井千明さんを送る): 『キリスト新聞』, 1993年11月20日。
- 「高倉徳太郎における『経験』の問題」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1-2頁, 1993年12月。
- 「信濃町教会と私」: 信濃町教会70年史委員会編『信濃町教会と私』, 221-222頁, 1994年6月。
- 「教会・伝道・新生」: 『新しい友へ』日本基督教団信濃町教会・求道者会ニュース, 1994年9月11日。
- 「試練の克服」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1頁, 1994年12月。
- 「松山, 大洲再訪」: 信濃町教会働く婦人の会『通信』(最終号), 2-3頁, 1995年7月。
- 「バルト説教選集を訳して」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1頁, 1995年12月。
- 「近況報告にかえて」: 日本基督教団信濃町教会婦人会A『通信』, 1995年12月。
- 「伝道について」: 日本基督教団出版局『アレテア』No. 12, 2-3頁, 1996年3月。
- 「戦後五十年と私」: 『ことば 戦後五十年に思う』, 3-6頁, 日本基督教団信濃町教会, 1996年7月。
- 「聖和会々員を送る」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1頁, 1996年12月。
- 「結婚と結婚式をめぐる」: 『アレテア』No. 16, 2-3頁, 1997年3月。
- 「青年と教会—青年の問いを喚起する」: 日本基督教団『教団新報』, No. 4393, 4頁, 1997年9月。
- 「聖和会の皆様への感謝」: 信濃町教会聖和会『聖和会ニュース』, 1頁, 1997年12月。
- 「バルトと高倉」: 日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第311号, 1999年2月。
- 「倫理と聖書」: 『アレテア』24号, 巻頭言, 1999年2月。

- 「真の人間形成追求を」(教務教師・神学教師からの声):『教団新報』第 4441 号, 1999 年 9 月 11 日。
- 「キリスト教学科の教育を考える」:『キリスト教学科通信』11 号, 2001 年 4 月。
- 「共に成長する教会」:日本キリスト教団山形県南地区報『希望に生きる教会』, 2001 年 11 月。
- 「説教の聴き方・受けとめ方」:日本キリスト教団広瀬河畔教会月報, 2002 年 3 月。
- 「『仕える』ための教育」:『キリスト教学科通信』12 号, 2002 年 4 月。
- 「希望への招きのために」:日本基督教団東北教区『宣教東北』116 号, 2002 年 9 月。
- 「文学部キリスト教学科創立 40 周年記念事業」:東北学院大学時報, 633 号, 2004 年 12 月。
- 「ヴィア・ジント・パプスト!」(ドイツ便り 1):日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 390 号, 2005 年 9 月。
- 「言葉のカルチャー」(ドイツ便り 2):日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 391 号, 2005 年 10 月。
- 「近未来からの風」(ドイツ便り 3):日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 392 号, 2005 年 11 月。
- 「ドイツからの海外レポートーゲッティンゲンにて」:東北学院大学時報, 646 号, 2006 年 2 月 15 日。
- 「『明治期キリスト教書目録』刊行」:東北学院大学時報, 660 号, 2007 年 5 月 15 日。
- 「本学の貴重書—『綱要』英訳初版と 1611 年版」:東北学院大学時報, 666 号, 2007 年 12 月 15 日。
- 「秋山憲兄コレクション」:東北学院大学時報, 668 号, 2008 年 2 月 15 日。
- 「伝道者養成を第一として」:日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 419 号, 2008 年 2 月 17 日。
- 「H・J・イーヴァント『説教学講義』を読む」:『キリスト教学科通信』20 号, 2010 年 4 月 10 日。
- 「アメリカで地震を知る」:『福音と世界』2011 年 5 月, 53-53 頁, 新教出版社。
- 「冷静な省察, 勇気ある行動」:『時の徴』128 号, 巻頭言, 2011 年 7 月。
- 「地上を旅する神の民」:日本基督教団甲府中央教会『甲府中央教会ニュースレター』No. 3, 2011 年 12 月 8 日。
- 「宗教改革者ルターの貴重書」:東北学院大学時報, 710 号, 2012 年 7 月 15 日。
- 「東北学院大学の図書館」:日本基督教団仙台広瀬河畔教会『月報』第 474 号, 2012 年 10 月。
- 「信仰の力動性の問題——『宣教基礎理論』改訂を巡って」:『時の徴』136 号, 20-26 頁, 2013 年 6 月。
- 短文 4 編(「『聖書研究』の意味と実際」, 「礼拝における祈祷について」, 「世のための教会の宣教——宣教基本方針の結実を求めて」, 「記憶の中から, そして記憶の中へ」):信濃町教会 90 年誌編集委員会編『月報にみる恵みのあと』, 2014 年 6 月。
- 「アットホームな信仰の共同体——信濃町教会創立 90 周年に思う」:日本基督教団信濃町教会月報, 481 号, 2014 年 7 月 6 日。

「先生との出会い」：大崎節郎著作集第2巻付録，2015年11月。

「シュトゥットガルトとアムステルダム」：『時の徴』145号，巻頭言，2016年3月。

「大洲教会をお訪ねして」：日本基督教団大洲教会『大洲教会だより』41号，10-11頁，2017年1月。

「宗教改革五百年講演会」報告：東北学院時報，743号，2018年1月。